

今日のキーワード「2015年の政治イベント」(グローバル)

2015年は欧州で多くの選挙が実施されます。欧州では、急進派の台頭が目立っており、ギリシャや英国の選挙等が注目されます。一方、日本では統一地方選挙が予定されています。地方の「アベノミクス」に対する期待を測る上でも、与党の信認(支持率)がどの程度維持されるかが注目されます。

ポイント1 欧州では毎月のように総選挙が実施

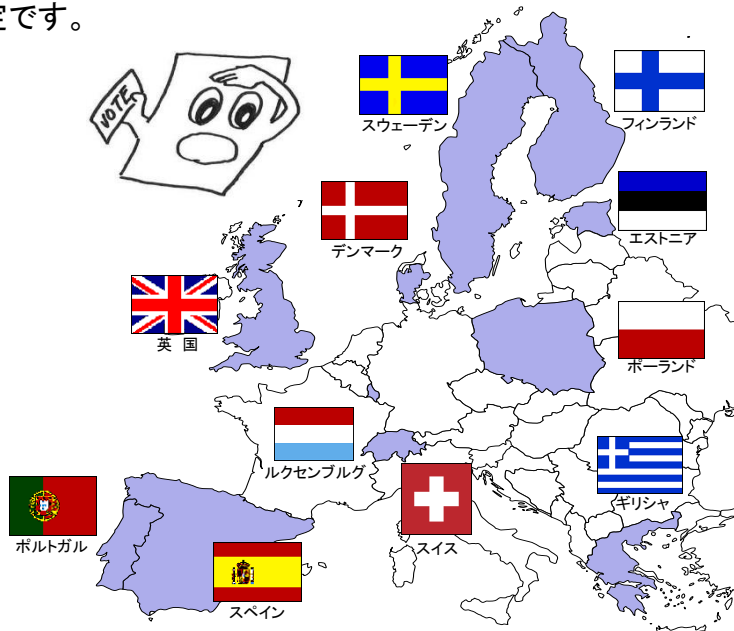
新興国でも年央以降に相次ぐ総選挙

- 2015年は欧州で多くの選挙が実施されます。主な選挙を見ると、1月25日のギリシャ総選挙を皮切りに、3月はエストニアとスウェーデン、4月はフィンランド、5月は英国、7月はルクセンブルグ、9月はデンマーク、10月はスイス、ポーランド、ポルトガル、12月はスペイン等で予定されています。
- また、新興国でも選挙が控えています。6月にトルコ、7月にはメキシコ、10月はタイ、アルゼンチン、11月はミャンマー等で総選挙が実施される予定です。

ポイント2 日本では統一地方選挙

9月には自民党総裁選も

- 日本では4月に第18回統一地方選挙が予定されています。12日に都道府県と政令市の首長、議員の選挙、26日にそれ以外の市町村の首長、議員の選挙が行われます。2014年の衆議院選挙では与党が絶対多数を維持しましたが、地方では苦戦する選挙区もありました。
- また、9月には安倍自民党総裁の任期満了を受け、総裁選が実施されます。安倍総裁が再選されれば、総裁を2018年まで務めることになります。



今後の展開 欧州ではギリシャ、英国の選挙、日本では与党の支持率に注目

■ギリシャ、英国の総選挙に注目

ギリシャでは急進左派が賃上げや雇用拡大に加え、債務の一部減免容認をユーロ諸国に働きかけることを公約に掲げています。英国は、欧州連合(EU)離脱派が勢力を増しています。急進左派等の台頭はEU及びユーロに対する信任が揺らぐ要因です。欧州経済や通貨に与える影響が大きいだけにその動向に注目する必要があります。

■与党の支持率が注目の統一地方選挙

日本の統一地方選挙では、地方経済の活性化が進んでいるか、進むと期待されるかといった「アベノミクス」に対する真価が問われることになりそうです。2014年末に政府は5カ年計画「地方創生総合戦略」を発表しました。具体化はこれからですが、こうした政策に対する期待を測るためにも与党の支持率がどの程度維持されるかに注目です。

ここも チェック!

2015年1月5日 宅森昭吉に聞く「2015年の景気」(日本)
2014年11月20日 ギリシャ危機再燃(欧州)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。